

No. 1351 (二〇二二年一月一日)号から

No. 1354 (No. 1374 (二〇二二年十二月十五日)号)まで

No. 1351 (二〇二二年一月一日)号

■巻頭言 ■ 私の選挙総括 衆議院新潟第二区・柏崎  
マルクスとエンゲルスそして『共産党宣言』

高田 勝弘  
蓑輪 泰臣

― 向坂逸郎著『マルクス伝』を読む (3) ―  
カール・マルクスと向坂逸郎 (3)

原 野人

― 資本主義的蓄積の歴史的必然 ―

◇信州松本通信◇  
マルクス・エンゲルスを読むときに

中澤 秀行

― 彼等の残した膨大な書簡の重要性について ―  
自由とは必然性の認識である

滝野 忠

― 斎藤君はマルクスをどう歪めているか (八) ―  
弾圧はねのける!

稲村 守

― 12・12 全国同時アクション・全近畿大阪集会 ―  
3 回目! 大集会 in おおさかに 1600 名

沢井 清

― 老朽原発廃炉! 声は大きく、拡がっている ―  
「活動やめるのは再稼働を認めるのと同じ」

稲村 守

― 脱原発市民ウォーク in 滋賀 100 回目! ―  
完全勝利を勝ちとり矢田部理さんに恩返しをしたい

川野 弘子

矢田部理初代委員長を悼む  
読者からのおたより

原 野人

No. 1352 (二〇二二年一月一日)号

■巻頭言 ■

闘い 労働者思想を学ぶ  
人権教育実践報告

国労上野反合研  
藪 芳郎

― 二年間の講師としての 2021 年度 ―  
資本所有からの経営の分離

― カール・マルクスと向坂逸郎 (4) ―  
唯物弁証法 「否定の否定」

原 野人  
滝野 忠

― 斎藤君はマルクスをどう歪めているか (九) ―  
読者からのおたより

No.1353(二〇二二年二月一日)号

■巻頭言

出会い、国鉄闘争と連帯する会

岩井章さん生誕100年、没25年(1)

労働運動(春闘)再構築

ー日本労働運動の過去・現在・未来(上)ー

資本主義的合理化

ーカールマルクスと向坂逸郎(5)ー

「原発」今や日本の焦点!

ー目に見え、耳に聴える運動にー

◇信州松本通信◇

『和田の歴史』を飾る「向坂逸郎」

ー向坂逸郎先生、百瀬嘉郎さん、平林六彌校長のことどもー

読者からのおたより

山下 俊幸

No.1354(二〇二二年二月十五日)号

■巻頭言

気候変動 2つの「学説」

幻想・夢想・空想・狂騒の物語

ー斎藤幸平著『人新世の「資本論」をめぐるー

階級構成と政党

資本はどこから生まれてどこに帰るか

ーカール・マルクスと向坂逸郎(6)ー

労働者の抵抗と資本の反抗

ー日本労働運動の過去・現在・未来(中)ー

読者からのおたより

伊勢 太郎

原 野人

滝野 忠

No.1355(二〇二二年三月一日)号

■巻頭言

福島原発事故から満11年

デブリ取り出し・廃炉に何十年かけるのか

十六代農家、東電に・・・喝!

社会主義への確信

ー日本労働運動の過去・現在・未来(下)ー

◇資料と解説◇ 自滅行為はやめよ

資料 新社会党K県本部定期大会へ

連帯とお祝いのメッセージ

ー岩井章さん、生誕100年、没25年(2)ー

「あなた(個人)の責任」という会社にごまかされず、

『会社の責任』を明確にし、追及しよう

◇信州松本通信◇

『資本論』散歩(1) 「大豆と黒豆を食す」

読者からのおたより

新社会党滋賀県本部準備会

山下 俊幸

国労上野反合研

中澤 秀行

No. 1356 (二〇二二年三月一五日)号

■巻頭言■

プーチンのあせり

世界情勢の特徴について (一)

「ヤドカリ選挙」はやめましょう

―新社会党第7回定期大会の感想と発言―

新社会党はどこへ行くのか…

三年後はない!? 悪い夢か

◇資料1 新社会党神奈川県本部修正案

◇資料2 新社会党新潟県本部意見書

天皇制容認の可否は民主主義者 (団体・政党) の試金石

―2・11紀元節反対京都集会での六つの学び―

わが家は「財産家」

―「挫折」、小さな成果のなかで―

驚いた大著

あきらめない 国の責任で

JR根室本線 (富良野―新得間) の存続を求めましょう

読者からのおたより

伊勢 太郎

蓑輪 泰臣

相沢 瑞男

稲村 守

山下 俊幸

原 野人

佐野 周二

No. 1357 (二〇二二年四月一日)号

■巻頭言■

国家と独占体の融合の強化

「新しい資本主義」について

ウクライナとNATO

―国際情勢について (二)―

泥棒も強盗も家の中にいる

―プーチンに便乗する独占資本と自民党政権―

あきれはてても あきらめないぞ!

―講師 滋賀で神田節 びわこ集会膳所公園に500人―

労働運動の再建なくして未来はない

―国鉄の分割・民営化から35年 4月1日を忘れない―

『社会通信』連載の

「日本労働運動の過去・現在・未来」読んで

ロシア軍のウクライナ侵攻と

原発関連施設への攻撃に抗議する

読者からのおたより

佐野 周二

中澤 秀行

山下 俊幸

沢井 清

原 野人

伊勢 太郎

滝野 忠

No. 1358 (二〇二二年四月一五日)号

■巻頭言■

ウクライナ戦争と参院選

国際情勢について (三)

太陽光発電が環境破壊

― 宮城県富谷市で起こっていること ―

◇資料『東京新聞』二〇二二年三月十一日◇

人がいない：：誰のせいだ

― 七七歳 元郵便局員の憤り「東電に責任取らせる」 ―

搾取・収奪強化の「偽装請負」を許すな!!

資本主義の末路と社会主義の必然

― エンゲルスから核心を学ぶ (1) ―

世論調査と政治

読者からのおたより

伊勢 太郎

相沢 瑞男

本村 充

原野人

滝野 忠

No. 1359 (二〇二二年五月一日)号

■巻頭言■エンゲルスから核心を学ぶ (2)

プロレタリアートの歴史的使命

ソヴィエト70年の歴史的総括

日本の政治と経済

― 国際情勢について (四) ―

「あっぱれ」なりベトナム人労働者

― 花畑牧場ベトナム人労働者ストライキ報復事件の報告 ―

原発全廃 平和な社会を切り開く

― 22春闘勝利 京都総決起集会へのアピール ―

◇信州松本通信◇

『資本論』散歩 (2) 「七十歳を迎えて」

読者からのおたより

伊勢 太郎

原野人

米澤 昭彦

橋田 秀美

中澤 秀行

No. 1360 (二〇二二年五月一五日)号

■巻頭言■ ウクライナ戦争

JR東日本の「会社始まって以来の変革」とは何か (上)

先進諸国における社会主義は

― エンゲルスから核心を学ぶ (3) ―

待望の書『牙を抜かれたマルクス主義

― 斎藤幸平とマルクス・向坂・資本論』(原野人著)のすすめ―

読者からのおたより

滝野 忠

森 勉

原野人

山下 俊幸

No. 1361 (二〇二二年六月一日)号

■巻頭言■ 憲法9条への思想攻撃 『朝日「調査」』から日本の政治と経済―国際情勢について(五)―  
独占資本は惜しみなく奪う

平日7日間連続の天津地裁での抗議宣伝行動…

―新裁判体スタートに対し関生反弾圧闘争―

JR東日本の「会社始まって以来の変革」とは何か(下)

読者からのおたより

本の紹介 原野人著『牙を抜かれたマルクス主義

―斎藤幸平とマルクス・向坂・資本論』

滝野 忠

伊勢 太郎

原 野人

稲村 守

森 勉

No. 1362 (二〇二二年六月一日)号

■巻頭言■ 参院選と戦争

いまこそ現場労働者の中へ

維新の政治の徹底検証

―弱肉強食の新自由主義、

規制緩和、民営化、公的責任の縮小と事故責任の徹底

◇資料と解説◇ 新社会党東京都本部大会「修正案」

東海再処理工場の恐怖(上)

―起こりうるさまざまな事故―

労働運動への警察・検察による

戦後初の本格的弾圧はなぜ滋賀から始まったのか

読者からのおたより

本の紹介 原野人著『牙を抜かれたマルクス主義

―斎藤幸平とマルクス・向坂・資本論』

滝野 忠

蓑輪 泰臣

武庫川ユニオン

原 野人

稲村 守

No. 1363 (二〇二二年七月一日)号

■巻頭言■ よみがえる帝国主義の蛮行―今日の戦争を考える―

市原芳樹さんを偲んで

―一生学習を貫いた人生―

原発のない明日を

老朽原発廃炉を参院選の争点に

―5・29若狭の老朽原発なくすため、全国から2100人決起!

私たちは、根室本線を廃止しては、いけないと考えます!

政府・国土交通省に対し

根室本線富良野―新得間の存続を訴えることを求めます

読者からのおたより

原 野人

山下 俊幸

稲村 守

佐野 周二

No.1364(二〇二二年七月十五日)号

■巻頭言 ■ 国家の暴走と責任について

関電 2カ月前倒し再稼働を許すな!

1 7月24日「老朽原発・美浜3号うごかすな! 現地全国集会」

社会党・社民党への挽歌

1 大分県大野平和運動センターの解散について

泊原発 運転差し止め 札幌地裁判決

1 津波対策「基準満たさず」廃炉は認めず

読者からのおたより

原野人  
稲村守

佐野周二

No.1365(二〇二二年八月一日)号

■巻頭言■

ウクライナ戦争と世界(一)

はじめに

あきらめず原則的に、柔軟に、したたかに

1 「使用者」の「やり得」許すな! 1

今こそ非武装中立を! 9条改憲阻止にたちあがるう!

寺島実郎氏のあきれた主張

1 国会議員数は過多か過少か? 1

この30年の歴史をふり返る

1 参院選総括 1

読者からのおたより

本の紹介 原野人著『牙を抜かれたマルクス主義

1 斎藤幸平とマルクス・向坂・資本論』

伊勢太郎

本村充

稲村守

原野人

編集部

No.1366(二〇二二年八月一日)号

■巻頭言■ 参院選再論

21世紀の世界情勢について 1 ウクライナ戦争と世界(二)

安倍元首相銃撃事件で明らかに

1 旧統一教会と自民党・安倍派の暗い闇 1

安倍一族の犯罪と国葬について

1 労働者国民の命を平然と奪っているのはだれか 1

国葬 絶対反対だ!

1 安倍元首相が凶弾に倒れた事件は

衝撃的で忌むべき惨事でしたが、国葬はありません!

老朽原発・美浜3号機を止めろ!

1 炎天下・コロナ禍について市民が現地で決起・全国集会開催 1

『牙を抜かれたマルクス主義

1 斎藤幸平とマルクス向坂資本論』を読んで

読者からのおたより

No.1367(二〇二二年九月一日)号

編集部

伊勢太郎

森勉

原野人

9条改憲NO! 市民アクション滋賀

稲村守

真鍋知己

■巻頭言■ 戦争の長期化

国際情勢の変化

東海再処理工場の恐怖

階級協調めざすー「令和臨調」

釣れませんでした

ー闘争団の仲間めぐる旅ー

安倍氏国葬反対集会開催！

ー安倍氏国葬は憲法問題だー

読者からのおたより

編集部

原 野人

蓑輪 泰臣

小林 義昭

沢井 清

No.1368(二〇二二年九月一五日)号

■巻頭言■ 経営者の「モラル」

階級的労働組合へ

ー使用者と「対等」の立場にたつー

最高の先生

ーダメな人 可能性のない人なんていないー

77回目の敗戦記念日に思う

『ウトロ ここで生き、ここで死ぬ』

中村一成(なかむら・いるそん) 著

詠み人知らず

伊勢 太郎

本村 充

原 野人  
稲村 守

(株)三一書房・刊、定価・本体¥2800、2022年4月27日発行

「金融人」の賃金論

読者からのおたより

No.1369(二〇二二年十月一日)号

■巻頭言■

原発を復権させるのはだれのためか

岸田首相、原発再稼働・新設へ方針転換

ー避難者は怒っている

東海第二原発をめぐる二つの裁判の50年

ー同意権という宝刀を「再稼働に同意しない」と振るうべき時ー

8・30老朽原発・美浜3号機再稼働強行

スタンバイまで半日で35名の現地抗議行動展開

◇資料 安倍元首相の「国葬」に市長・教育長の参加反対・公費ださない

ー柏崎刈羽九条の会&戦争を許さない柏崎刈羽の会の「要請書」ー

◇資料 安倍政権による沖縄政策を告発する

ー「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会ー

経済制裁 作用と反作用

ゴルバチョフ氏の死

読者からのおたより

原 野人

相双の会

相沢 一正

三代 正臣

伊勢 太郎

編集部

No. 1370(二〇二二年十月十五日)号

■巻頭言■

情勢を考えるー最近の新聞記事から

福島原発汚染水の最善の解決策を!

森 勉  
原 野人

ー海底トンネル放水は漁民、国民を愚弄するものー

郵便窓口の一体化問題に対する仲間の声

しれとこたろう

◇資料 新社会党東京都本部 御中

参議院選総括 意見書 新社会党東京都本部多摩中部総支部

《投稿》

参議院選挙結果と新社会党

相馬 洋

読者からのおたより

No. 1371(二〇二二年十一月一日)号

■巻頭言■

写真家 田沼武能の見た向坂逸郎

中澤 秀行

階級的労働運動の再建ーバス交流会の仲間たち

蓑輪 泰臣

軍事費、円安、税制

森 勉

ー新聞記事を題材に情勢を考える(下)ー

「次世代型原発」の内幕

原 野人

ー政府の原子力政策転換のゆくえー

「新しい資本主義」の本質

伊勢 太郎

ー反動、腐敗政治まっしぐらー

読者からのおたより

No. 1372(二〇二二年十一月十五日)号

■巻頭言■

今こそ非武装中立の旗を高く

原 野人

綱領まんなかに理論、思想の学習

蓑輪 泰臣

ー新社会党「参議院選挙の総括」についてー

◇資料1 新社会党「次期参院選方針」

◇資料2 『新社会党綱領 21世紀宣言』から

◇資料3 向坂逸郎著 『日本革命と社会党』から

◇資料4 レーニン『カール・マルクス』

◇資料5 『共産党宣言』一八八三年ドイツ語版への序文

ーマルクス主義の核心・唯物史観ー

労働組合法の観点から、公正な判決を!

関生・コンプライアンス事件結審 判決は23・3・2

稲村 守

読者からのおたより



No. 1373 (二〇二二年十二月一日)号

■巻頭言■

憲法九条と中・朝「脅威論」

伊勢 太郎

マインドコントロール(洗脳)の社会

山下 俊幸

―自民党・旧統一教会・日本会議・松下政経塾・富士政治大学・連合―

「子ども食堂」にかかわるM・Kさんへの手紙

中澤 秀行

―「現代の貧困」をマルクス・エンゲルスの古典から紐解く―

中央指導部の不勉強と退廃を悲しむ

原 野人

―わが党低迷の根本原因は何か―

読者からのおたより

No. 1374 (二〇二二年十二月一日)号

■巻頭言■

アメリカ中間選挙から

伊勢 太郎

マルクスの『資本論』とレーニンの『カール・マルクス』

中澤 秀行

―旧訳岩波文庫版『資本論』に注目して―

新社会党第28回臨時全国大会から

蓑輪 泰臣

小西純一郎さんを偲ぶ

腐りきった「連合」の終着駅は

山下 俊幸

原発の新設・稼働延長と軍備の拡張

原 野人

読者からのおたより